事務事業評価シート　平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

所管課	農水産課	担当班	畜産班

事務事業名	コード	24100	家畜防疫対策事業	予算科目	会計	款	項	目
					一般	6	1	4

施策体系					
基本施策	1	農水産業の振興	根拠法令	旭市補助金等交付規則等	
施策の展開	1	農畜産物の生産振興	戦略事業	6	家畜防疫対策事業
施策の展開			戦略事業		

事業種別
- ☑ 主な事業
- ☐ 国土強靭化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏構想
- ☐ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間
- ☑ 単年度繰返
  - ☐ 平成 __ 年度～
  - ☑ 開始年度不詳
- ☐ 期間限定複数年度
  - 平成 __ 年度～
  - 平成 __ 年度まで

② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない

近年、畜産経営では、飼養規模の拡大が進行する中、さまざまな家畜伝染病の発生が危惧され、衛生管理の強化が重要となっている。
このような畜産環境の中、家畜伝染病の予防接種や検査を実施した事業者に対し補助金を交付し、家畜伝染病の発生及び蔓延を未然に防止し、経営の安定を図る。

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状

家畜伝染病の発生及び蔓延を防止して畜産経営の安定化を図るべく始まった。

④事務事業に関する課題・環境の変化

豚オーエスキー病については、平成29年度末に千葉県は清浄化の扱いとなった。しかし、近隣県では依然として疾病の発生が続いているため、清浄性の維持及び防疫上の観点からワクチンの接種を継続する必要がある。（全国で、まだ3県が清浄化されておらず、その内2県は関東である。）

⑤事務事業に対する住民からの意見等

畜産農家から、「ワクチン接種や検査に補助がでることで、負担が軽減できている。今後も予防接種や検査を実施するにあたり、事業を続けていってほしい」という声がある。

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細（29年度の決算）　単位：千円

1.牛の結核・ブルセラ病・ヨーネ病検査	0	補助率1/2（670円/頭）
2.牛のアカバネ病予防接種	207	補助率1/10（生ワクチン 140.3円、3種混合ワクチン 157.8円）
3.豚のオーエスキー病予防接種	21,458	補助単価30.0円
4.鶏伝染病予防接種	4,350	補助単価1円
5.家畜防除消毒薬助成事業		

② 特定財源の内訳（29年度の決算）　単位：千円

1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	0	

前年度増減理由	牛の結核・ブルセラ病・ヨーネ病検査が実施年でないため 豚予防接種頭数の減

		単位	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）
事業費 費目内訳	1. 牛の結核・ブルセラ病・ヨーネ病検査	千円	1	6	1,056	0	1,210
	2. 牛のアカバネ病予防接種	千円	192	204	203	207	200
	3. 豚のオーエスキー病予防接種	千円	24,427	25,438	25,463	21,458	25,800
	4. 鶏伝染病予防接種	千円	4,064	3,038	2,379	4,350	2,000
	5. 家畜防除消毒薬助成事業	千円					3,850
	事業費計 (A)	千円	28,684	28,686	29,101	26,015	33,060
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円					
	5. 一般財源	千円	28,684	28,686	29,101	26,015	33,060

従事職員数	常時	1 人	最大	3 人	×	30 日	＝	延べ	90 人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段
① 主な活動
29年度実績（29年度に行った主な活動）
家畜伝染病の発生及び蔓延を未然に防止するためのワクチン接種及び検査

⇨

	③ 活動指標名	単位	26年度（実績）	27年度（実績）	28年度（実績）	29年度（実績）	30年度（計画）
ア	ワクチン及び検査を行った家畜の総頭羽数	頭・羽	5,281,237	5,037,001	4,983,021	5,067,273	2,863,419
イ							

目的
② 対象・意図（対象がどのような状態になるのか）
- 対象：畜産農家（牛・豚・鶏・うずら）
- 意図：家畜の疾病発病を未然に防ぎ畜産経営者への被害を回避する。
- 対象：
- 意図：

⇨

	④ 成果指標名	単位	26年度（実績）	27年度（実績）	28年度（実績）	29年度（実績）	30年度（計画）
ア	関係する伝染病が蔓延した畜舎数	戸	0	0	0	0	0
イ	オーエスキー地域清浄化レベル（ｽﾃｰﾀｽⅡは、ワクチン接種を推進し、清浄性が確認できれば順次接種を中止していく段階）	ｽﾃｰﾀｽ	2	2	2	3	3

(4)事務事業優先度評価の結果

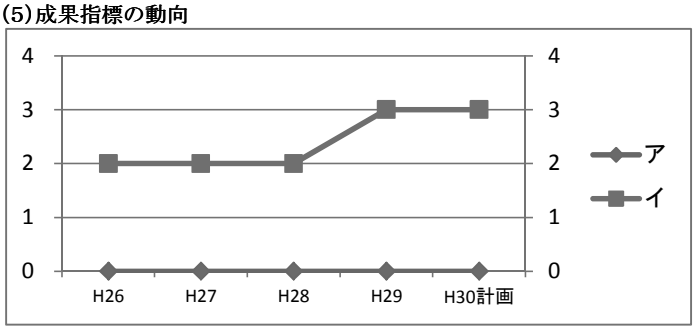
①成果優先度評価結果

施策貢献度 ＼ 成果向上余地	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
大きい			
普通		⑤	
小さい			

②コスト削減優先度評価結果

成果優先度 ＼ コスト比率	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
①			
②③			
④⑤⑥		(8)	
⑦⑧⑨			

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容

① 進捗状況　☐ 完了　☑ 順調　☐ 概ね順調　☐ 停滞　☐ 実施困難

【コメント】（停滞・未実施・実施困難の場合、その理由）

② 成果の状況

	成果指標ア	成果指標イ
成果指標のタイプ	↘ 数値減＝成果向上	↗ 数値増＝成果向上
	☐ 向上　☑ 横ばい　☐ 低下	☑ 向上　☐ 横ばい　☐ 低下

【コメント】（低下の場合、その理由）

成果動向 比較	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28年度	28年度 29年度	29年度 30計画
ア	0	0	0	0	0
イ	0	0	0	1	0

③ 今年度取組事項（30年度に取り組む主な事項について記載）

時期	内容
随時	例年どおりの活動に加え、消毒薬助成事業を実施

今後の方向性
- ☐ 拡大　☑ 現状維持　☐ 見直し
- ☐ 縮小　☐ 廃止・休止　☐ その他（　　）

随時	例年どおり実施